

1321

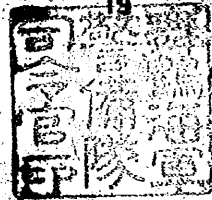
軍極秘

舞鶴鎮守府 第一七〇〇號 九

武功調査部長殿

自昭和十八年八月一日
至同年八月三十一日

九月十五日付



舞鶴海軍敬言備隊戦時日誌

所屬	舞鶴鎮守府
役務	海軍敬言備隊

自昭和十八年八月三十一日
至同 年八月三十一日

第一 經過

舞鶴海軍警備隊戰時日誌

一 敵及敵國ノ情勢

敵ハ依然熾烈ナル反攻ヲ繰反シツツアリ

八月一日「ビルマ」獨立宣言「バドグレイ」内閣出現ス

任務編制及配備

任務

舞鶴軍港及其ノ附近ノ防禦並ニ舞鶴鎮守府擔任陸上警備區域ノ警備

編制

警備隊本部

陸空指揮所

陸上警衛隊

防火防毒救護隊

特設監視艇隊

博愛岬防空砲臺

防備隊山機銃砲臺

送信所山機銃砲臺

工廠機銃砲臺

倉梯山防空砲臺

2221

遠山防空砲臺

五老嶽防空砲臺

愛宕山防空砲臺

上世屋特設見張所 (丁)

鮫前岬特設見張所 (丙)

冠島特設見張所 (丁)

四配 備

自八月三十一日 全期間第四番或配備

(配備ハ要圖其ノ一其ノ二ヲ以テ示ス)

三、作戦 (整備ヲ含ム) 経過

(1) 作戦計畫及命令ノ要旨

(2) 擔任区域内防空並ニ陸上警衛ニ任ズルト共ニ監視艇隊ヲ以テ海面防

備部隊ニ協力ス

(3) 本府命令ノ改定ニ準據シ機密舞海警命令作第七號ヲ以テ警隊警戒規

程ヲ改ム

皆月特設見張所 (戊)

經ヶ岬特設見張所 (丁)

彈埼特設見張所 (戊)

長尾鼻特設見張所

和田山特設見張所

建設中

1323

四、各部ノ行動

機密舞海警命令作第七號ニ依ル第四警戒配備ニ在リテ各所定ノ警戒ニ任ジタリ

四、戰備及政策事項

(一) 教育訓練

(1) 陸上防空砲臺

(1) 補充交代ニ依リ多數兵員ノ異動ニ伴フ戦力ノ低下ヲ防止シ且噴砲戰ニ備ヘテ極力基礎的訓練ヲ勵行以テ急速練度ノ向上ヲ努メタリ

(2) 第四回防空砲臺教練射撃(於空山、博多岬砲臺)並ニ第二回砲術特技兵教程射撃(空山砲臺)ヲ實施セリ

(3) 見張教育ノ徹底通傳傳令員ノ特別教育及疎濶補射關係員對スル特別訓練並ニ照射法ヲ演練セリ

(二) 特設見張所

白 特設監視艇

- (1) 對空對潛見張ヲ、味方識別信號法、暗號、手旗信號等演練ス
 - (2) 機密舞鎮命令第九八號ニ據ル通信訓練ニ參加ス
- 白 特設監視艇
- (1) 對空對潛見張ヲ主トシ併セテ通信連絡、暗號、手旗信號等ヲ演練ス
 - (2) 八月二十三日監視艇隊出勤各種綜合訓練ヲ實施ス
 - (3) 機密舞鎮命令第九八號ニ依ル通信訓練及舞鎮通信術聯合教育ニ參加ス

四 陸上警衛隊

從前ニ引續キ有線通話訓練ヲ反復シ又游泳ヲ勵行本府日令ニ依ル游泳聯合競技ニ參加ス

八月十五日入隊ノ新一水ニ對シ特別教育ヲ實施ス

四 防火、防毒、應急、救護隊

從前ニ引續キ生地教育ヲ反復演練シツツアリ

前記新一水ニ對スル特別教育ヲ實施ス

其ノ他

(四) 六月十日入隊ノ砲術特技兵一海上對空ニ五十一名ニ對シテハ前月ニ

引續キ所定ノ教育ニ任ジツツアリ

(五) 第一、二次入隊ノ補充兵、國民兵ニ對スル實務教育終了

第三、四次入隊ノ補充兵(二五〇名)ニ對シテハ引續キ之ガ基礎教

育ニ任ジツツアリ

補充員補充

番号	補充兵分隊	砲術特技兵	陸上警衛隊	防火防毒隊	陸上警衛隊	特設見張所	監視艇隊	防空砲臺	防空指揮所	本部	現		在		員		
											准士官	士	准士官	兵	軍	屬	計
七	二	一	七	二	六	七	一〇	六	三	六	六	四	八	一	三	五	九
三三〇		四八	六八	二〇	九二	三〇	二〇	九二	一〇	四	四	八	八	一	三	四	三
二二二	二五〇	三	二二	一四	三三	一六	七一	三三	一八								
三三						五	三四										
六四五	二五二	五三	三〇	一三	四三	一五	一二	三〇	三一	一	一	五	六	一	二	三	九
四二〇			七四	一三	九	二六	一五	九九	七								
三三六			六四	二一	〇二	一六	〇	〇二	四								

（イ）施設其ノ他

（一）土木工事關係

(1) 空山砲臺

揚 彈 斜 路

八〇%

(2) 五老嶽砲臺

水害復舊工事

完 成

(3) 冠島特設見張所

給 水 設 備

完 成

(4) 越前岬特設見張所

給 水 設 備

二〇%

(5) 倉梯山砲臺

運 彈 道 路

二〇%

（ロ）建築工事關係

(1) 樽夾岬砲臺

1329

兵舎附屬家
(2) 倉梯山砲臺
彈臺及格納棚

九五%
完成

第二人員ノ現状
一職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	記事
舞鶴海軍警備隊司令官	首席參謀 下士官對等所轄長職務執行		少將	田中	賴三	
舞鶴海軍警備隊參謀	職務參謀 砲水航通信長職務執行 防空警備隊監視艇隊司令 才五八隊長		大佐	竹下	宜豊	
舞鶴海軍警備隊隊長(兼)	核团长 工作長職務執行		少佐	尾崎	隆	
舞鶴海軍警備隊隊長(兼)	軍医長		中佐	水元	秋義	
舞鶴海軍警備隊主計長 (人分隊長(兼))	主計長 才七八隊長		医中佐	石田	敬基	
舞鶴海軍警備隊隊付 兼分隊長(兼)	衛兵司令 運用長職務執行 才一二分隊長		中佐	戸井	常市	八一 三四 佐
舞鶴海軍警備隊隊付 兼分隊長	才五八隊長		少佐	小野	源作	
舞鶴海軍警備隊隊付 兼分隊長	才六八隊長		大尉	齋野	一雄	
舞鶴海軍警備隊隊付 兼分隊長	才六八隊長		医中尉	森	達雄	
舞鶴海軍警備隊隊付 兼分隊長	才六八隊長		中尉	高地	朝太	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
參謀附兼學館海軍長 參道信長才五分隊長	大信丸艦長兼才四分隊長	才六分隊長	防空指揮所附兼才三分隊長	才一分隊長	當座長兼學館當長才四分隊長	衛兵司令兼才一分隊長	當看護長才六分隊長	才六分隊長	砲台長附學館長兼才五分隊長	高射隊司令附兼參謀所 隊首主任附	第十分隊長	五老砲臺長兼第九分隊長
同	兵曹長	医少尉	同	同	同	少尉	衛中尉	医中尉	同	同	同	中尉
鈴木	菊田	松崎	天谷	渡邊	川瀬	山田	新環	前田	坂	鈴木	橋	齋藤
達衛	信治	暲士	富尾	正中	久右衛門	保司	興清	政三	竹雄	左工門	芳郎	薫
		八二 任						八 一 任				

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	舞鶴海軍警備隊附
博奕浦八尾台所兼第十分隊士	幸福丸艇長兼才四分隊士	才一天祐丸艇長兼才四分隊士	西曆丸艇長兼第四分隊士	空山砲台所	才三十分隊士	防火隊司令所兼才二分隊士 船外防空指揮官	才三十分隊士兼五老岳砲台所	彈特特設見張所長兼才四分隊士	盛運丸艇長兼才四分隊士	才號東洋丸艇長兼才四分隊士	受宍山砲台所兼才十分隊士	平和丸艇長兼才四分隊士
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	舟首長
梅原 一郎	中谷 覺太郎	伊藤 友吉	吉田 源藏	矢萩 徳二郎	小林 廣太	黒田 安太郎	浪江 準一	片山 稔	細川 重太郎	加藤 達夫	金子 清榮	小黒 定由

同	兼舞鶴海軍警備隊附	越前特設見張所長兼才四分隊士	兵曹長	田尻	春登	
同		皆日特設見張所長兼才四分隊士	同	藤江	義平	
同		經崎特設見張所長兼才四分隊士	同	池内	忠三郎	
同		冠島特設見張所附兼送信所附長	同	齋藤	庄五郎	
同		倉橋山砲台附	同	中村	又次	
同		早島丸艇長	同	阿部	仙吉	
同		才十分隊士兼才三分隊士	同	遠藤	朝興	
同		五老岳砲台附	同	大竹	氏藏	
同		送信所山砲台附兼冠島特設見張所附	同	濱野	駒太郎	
同		才五分隊士兼第五作長	工曹長	田中	文吉	
同		廣務主任兼才七分隊士	主曹長	菅原	勝巳	退八
同		衛兵副司令(雁又、白浜地区)	少尉	小西	常治	退七
同		衛兵副司令(法波負地区)	同	長谷川	要吉	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
												兼舞鶴海軍警備隊附
同	監視艦隊司令附	同	衛兵列司令	才西分隊長	岩島特設見張所長兼送倉所 山崎台附才西分隊長	参謀附	甲板士官兼掌運用長才西分隊長	第三分隊長	監視艦隊司令附	軍医長附	掌経理長	衛兵副司令(岩子地区)
同	同	同	同	同	同	同	兵曹長	少尉	中尉	医大尉	主簿長	兵曹長
増田	村上	手塚	井熊	寺井	中村	本間	小林	新保	村崎	前田	内山	柴田
良助	行雄	譽司	刃之助	重義	文三郎	誠一	金光	洵四郎	庄作	洲	貞雄	清太郎
			退、 法						着、 任			

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	舞鶴海軍警備隊司令官 承命職務
空山砲台附	丹波特設見張所附兼送信所 山砲台附	同	博奕砲台附	五老岳砲台附	愛宕山砲台附	五老岳砲台附	同	經ヶ崎見張所附	才三三分隊士	才三三分隊士	才二分隊士	才三分隊士
操隊長	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	兵曹長
片桐 幸吉	大橋 伊勢松	池田 高盛	田中 庄次	藤井 孫太郎	大河原 昇	長野 半次	河村 繁作	浅井 正年	松本 好美	西尾 友太郎	安達 啓五郎	石橋 貞信
	八二五 退			八二〇 退								

二下士官兵其他員數

種別	科	水兵科	機附科	工作科	看護科	並行科	其他	計	宛
現員		一〇六八	一四九	六	一一	三〇	三一	一五九九	宛内補充兵四四九名 計五三名
臨時勤務		二〇	一三					三三	
其他							三一	三一	

種別	科	機附科	並行科	其他	計	宛
海軍警備隊司令部						菅野
海軍省附屬施設管理課						福田
海軍省附屬施設管理課						菅野
海軍省附屬施設管理課						三治
海軍省附屬施設管理課						勝也
海軍省附屬施設管理課						着任

第三十五号命令達報告等

日	命令	受令先	達	報	告	種別	記
一	〓	隊全般	対空対潜警戒配備規程ニ関スル件		文書	機密海軍命令 令第一七号	
二	〓	各砲台	（通殺陸上砲台） 八高丸塔望鏡認ムル件 偵察隊指揮官ニ海軍航空隊現所備ニテ警備ノ件		文書	機密海軍命令 令第一六号	
〇	〓	各砲台	第四回防空砲台放練射撃ノ件		電書		
一	〓	鎮防指	北千島海面空襲警報発令ノ件		電書		
二	〓	鎮防指	北千島空襲警報解除ノ件		電書	機密海軍命令 令第一七号	
六	〓	鎮防指	北千島海面空襲警報発令ノ件 （一五五）		電書		
八	〓	各砲台	同右解除ノ件 （一三三） 海軍第二回砲台特（対空）講習放程射撃ニ関スル件		電書	機密海軍命令 令第一八号	
九	〓	彈埼	望鏡若没発見嚴重監視ノ件		電書	機密海軍命令 令第一九号	
九	〓	〓	國籍不明望鏡発見報告ノ件		電書	機密海軍命令 令第二〇号	
九	〓	〓	其ノ後望鏡認ムル異状ナレノ件		電書	機密海軍命令 令第二〇号	

二二	九	二八	二七	二四	二三	二二	
旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗
隊全般	警隊 (受報)	警隊 (受報)	鎮防指 警隊	各見張所 警隊 (受報)	陸防指揮官 警隊 (受報)	各監視艇 警隊 (受報)	陸防部隊 警隊 (受報)
富隊防空防衛訓練、件	新井等、二十三日海艇交代、件 二十一日海艇指定海面南、新井等、七尾 二、事務引続、件	七尾基地派遣隊、警戒要領二回、スル件	同、右、解除、件、六〇〇	空襲警報発令、件、五三二 発信音落、一、機、空基地	同、右、実施、二、件 同、右、実施中、船艇対潜警戒、航行船同、 格護衛、並、三、代、指、定、位、置、二、対、潜、警戒、 ナ、ス、件	八月二十五日以後、日本海、北航路、四、種、航行 空襲制、定、施、二、件	最近、北海道、樺太、敵、潜水艦、出現、本府、担任、区域、偵 入、査、アリ、海防、航空、部隊、警戒、要領、ス、ル、 警、最、人、件
文書			電	文書			
松本等、海防、警、令、 令、二、二、二、	新井等、海防、警、令、 令、二、二、二、	新井等、海防、警、令、 令、二、二、二、		海防、警、令、 令、二、二、二、	海防、警、令、 令、二、二、二、	海防、警、令、 令、二、二、二、	海防、警、令、 令、二、二、二、

第四 参考

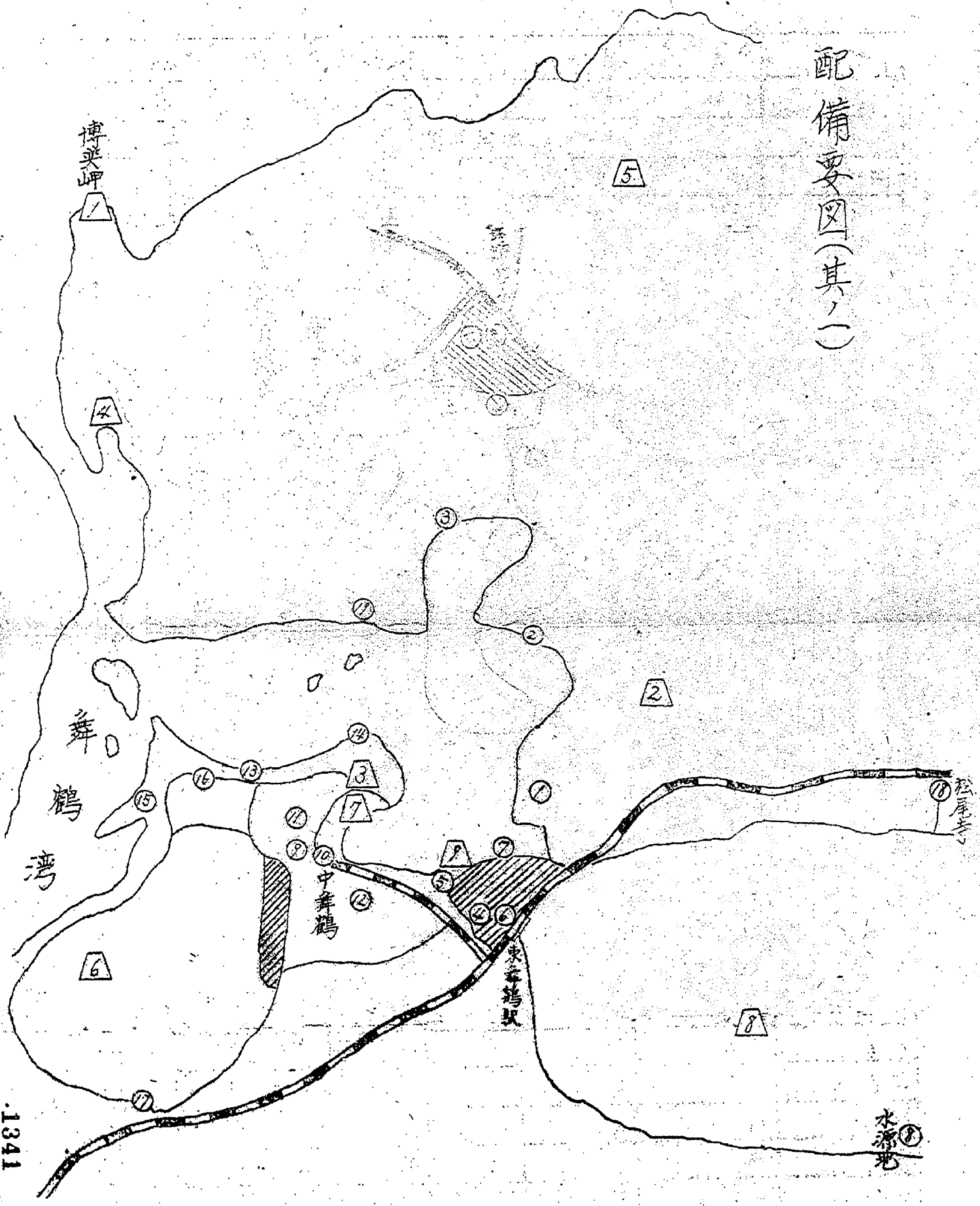
(兵力配備表)

(八月三十一日現在)

扉号	区	分	准官	下士官	兵	合計	
1	博	爽岬砲台	三	一七	六〇	八〇	
2	愛	岩山砲台	二	二六	五四	八二	
3	旧	送信所山機銃砲台	二	五	五〇	五七	
4	浦	入砲台	(官房機密第三六八一號ニ依リ撤去)				
5	空	山砲台	四	二三	七五	一〇二	
6	五	老岳砲台	六	一八	六四	八八	
7	工	廠機銃砲台		一	四	五	
8	倉	梯山砲台	一	一	一	三	
9	防	備隊山砲台		一	四	五	
1	東	区本部		一	二	三	
2	大	波重油槽	現在配員ニヤラズ				
3	平	重油槽	現在配員ニヤラズ				
4	中	区本部		四	一三	一六	
5	東	構門		二	一〇	一二	

	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)
司令部 應急隊	佐波賀 火藥庫	松尾 寺 取	上安 唧筒所	岩子 火藥庫	白旗 火藥庫	雁又 火藥庫	長濱	北吸 淨水池	鎮守 府門	西構 門	西區 本部	水源 池	第一 上陸場	東牟 鶴 敷
		現在 配員シ アラス												現在 配員シ アラス
二二	三		二	五	八	六	二	二	二	二	三	二	二	
四九	一七		七	一五	三八	二一	三	六	一〇	一〇	一三	八	九	
七一	二〇		九	二〇	四六	二七	五	八	一三	一三	一六	一〇	二	

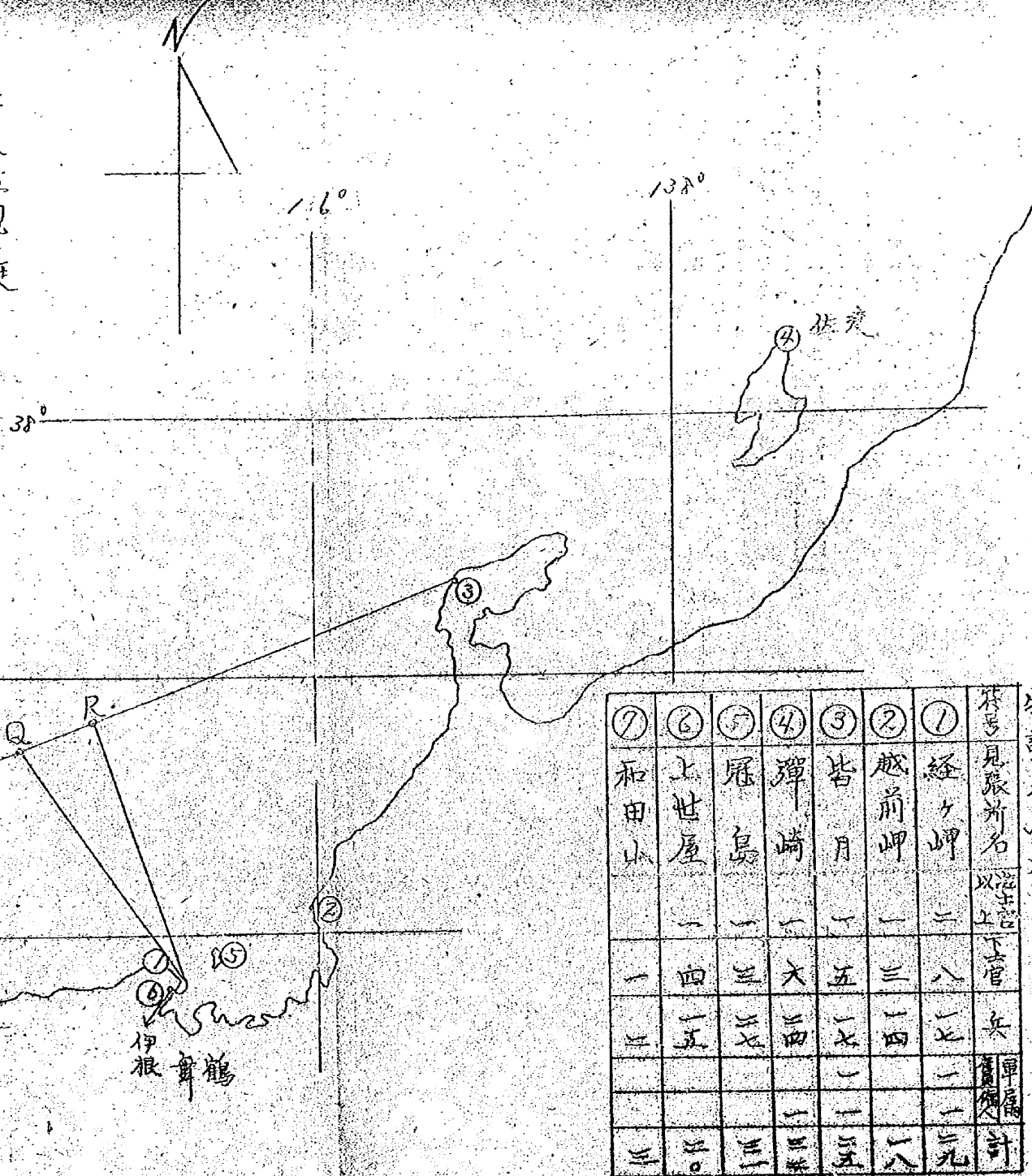
配備要図(其一)



1341

大信丸	麗光丸	第一東洋丸	平和丸	第一天祐丸	第一早鳥丸	幸福丸	藏運丸	艇名
一	二	二	一	一	一	一	一	以上官
三	二	二	四	三	二	二	二	下官
八	一三	八	七	七	九	九	一〇	兵
三	二	一	一	三	三	三	二	軍備
二		二	二			一		備
一七	一九	一五	一五	一四	一五	一五	一五	計

特設監視艇



⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	特設見張所名
和田山	上世屋	冠島	彈崎	若月	越前岬	経ヶ岬	以上官
一	四	三	六	五	三	八	下官
二	一五	二七	二四	一七	一四	一七	兵
				一		一	軍備
			一	一		一	備
三	三〇	三二	三三	三五	三八	三九	計

特設見張所

七	六	五	四	三	二	一	日
一三快 。五晴	一三曇 。四	一三曇 。。	四三曇 。三	一三快 。五晴	一三快 。五晴	一三半 。八晴	先 候
一三快 。二晴	一三曇 。五	一三曇 。六	二二雨 。六。	一三曇 。五	一三快 。六二晴	一三快 。五晴	視 天 界 温 候 (行)

第五作戦経過

過
自昭和十八年八月一日
至同月三十一日

舞鶴海軍警備隊

鎮 鎮 海	鶴 鶴 鶴	舞 舞 舞	任 務
			經 過 概 要 記 事
	×廿×経々岬々事狀視察	游泳不能者(補國兵)教育 P講演(於水交社) 大災(工廠化學研究所)	第四警戒配備

一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八
五二 五 。	一三 快 三 。晴	一三 曇 。	一三 快 三 。晴	一三 半 三 。晴	一三 快 三 。九 晴	一三 快 三 。晴	一三 快 三 。晴
一七 曇 七	一三 曇 三 。	一三 半 三 。晴	一七 半 七 五 晴	五三 曇 八	六三 快 三 。八 晴	一三 半 三 。五 晴	一三 半 九 四 晴

守 府 守 軍
府 地

新兵入隊 X 又 防空砲台構築研究会(於福砲台)	浦入砲台探照燈撤去	防空砲台構築打合會	主計長會議	五老赤砲台三十五號機銃裝備	防空壕打合會 翌月作業打合會		

二 三	二 二	二 一	二 。	一 九	一 八	一 七	一 六
一 三 快 。六 晴	一 三 快 。一 晴	一 三 快 。六 晴	一 三 快 。一 晴	一 三 半 。六 晴	一 三 半 。九 晴	一 三 半 。八 晴	一 三 半 。八 晴
一 五 快 。九 晴	五 三 半 。一 晴	一 三 快 。六 晴	五 三 半 。一 晴	五 三 半 。一 晴	一 三 半 。九 晴	一 三 半 。八 晴	一 三 半 。八 晴

軍
備防

海

防
区

監視艇隊出動訓練		後務令報(乙)	一艇令報 第三回潜水術競技				送信所山砲台二十五耗機銃裝備
			(野崎九三)				

三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四
大。三。曇。 。。	一。三。曇。 。。	一。三。半。 。晴	一。三。半。 。晴	大。二。快。 。七。五。晴	一。三。半。 。四。晴	一。三。快。 。三。晴	一。三。快。 。三。晴
五。二。曇。 。七。五	一。三。曇。 。四	一。三。曇。 。二	一。三。半。 。七。晴	一。三。半。 。三。晴	一。三。曇。 。	一。三。曇。 。五	一。三。快。 。六。晴

隊

備

敬言

隊
備

敬言

部
空

游泳聯合競技		<p>×七廿×越前山踊時苦月方面巡視</p>	<p>×廿×指山砲台実地調査 砲特艦務実習(於伊勢) 第百機園電機主任名譽校長</p>	<p>射撃委員会 第四回防空砲台教練射撃 第三回砲特放程射撃</p>	<p>教練射撃委員打合會 防空砲台構築研究會</p>
			<p>(秋津白)</p>		